

## 音読レコーダのマニュアル

音読レコーダには種々の機能がありますが、まとめるまでもう少し時間がかかります。ここでは、主としてマイクを使って録音する方法について説明しています。下記の4項目について説明を加えています。

- 1.音読レコーダの起動と終了の方法
- 2.マイクを使った録音の仕方
- 3.録音した音声を再生する方法
- 4.録音した音声を保存する方法
- 5.音声ファイル速音化の仕方

- ・マニュアルは WindowsXP を対象として作成しています。
- ・マニュアルの表記はデジ速マニュアルと同じです。

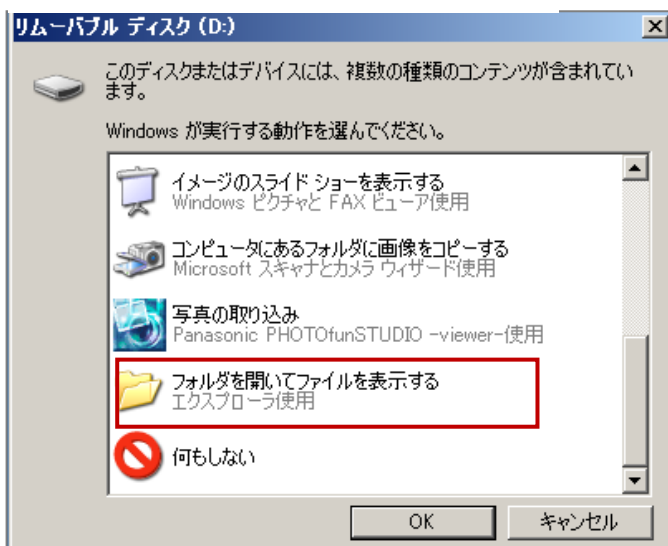
### 1.起動と終了の方法

#### 1. 1起動

(1)パソコンの USB ポートに、“速音聴”USB を挿入します。

❖自動再生が設定されている場合、リムーバルディスクの実行画面(図1)が表示されます

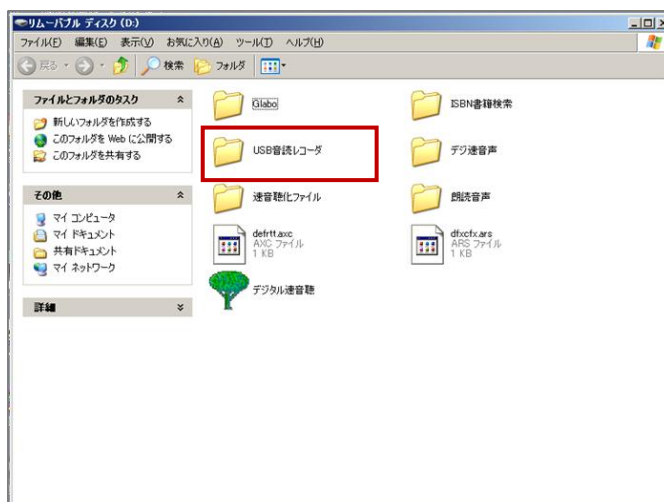
(図1)リムーバルディスクの実行画面



(2)「フォルダを開いて表示」をクリックします。

❖リムーバルディスク内のコンテンツが表示されます。(図2)

(図2)リムーバルディスク内のコンテンツ

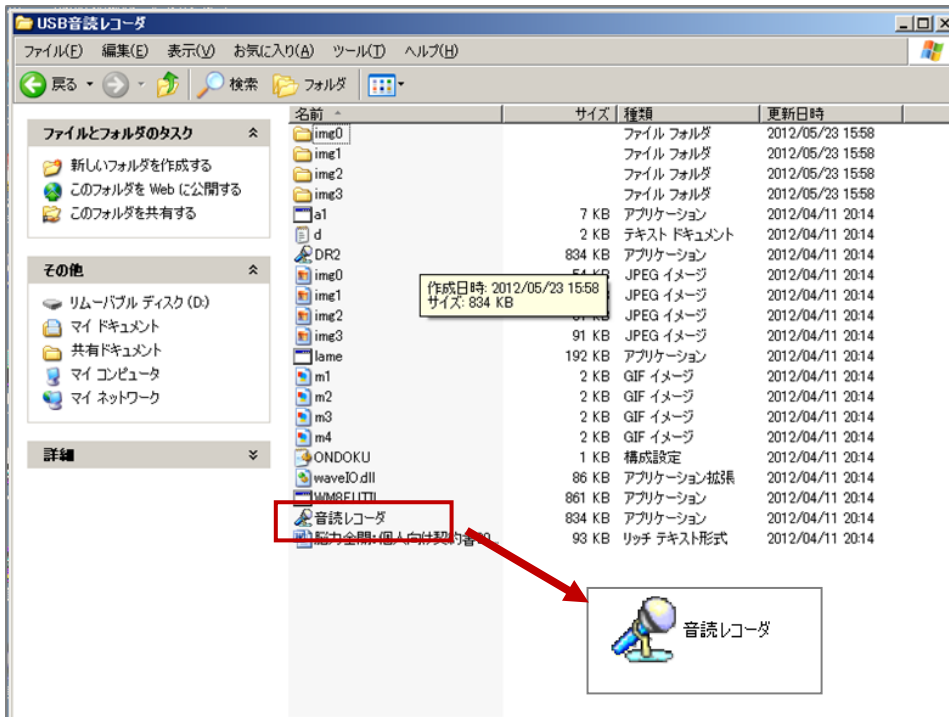


※自動再生が設定されていない場合、「スタート」ボタン→マイコンピュータ→リムーバルディスクと順にクリックしてリムーバルディスク内のコンテンツを表示してください。(図2)

(3)USB 音読レコーダのフォルダをダブルクリックします。

❖ 音読レコーダのフォルダのコンテンツが表示されます。

(図3)フォルダ内のコンテンツ



(4)「音読レコーダ」のアイコンをダブルクリックします。

❖ 音読レコーダの操作画面が表示されます。

(図4)操作画面



## 2.2 音読レコーダの終了

(1)右下の「終わり」ボタンをクリックします。

❖ 初期画面が閉じます。

## 2.マイクを使った録音の仕方

(1)音読レコーダを起動させ操作画面を表示させます。

(2)パソコン本体にマイクを接続した後、画面のマイクを選んで下さい。

(図5)録音前の操作画面



※基本的には、「モノラル」でご利用ください。「ステレオ」だと、データ容量が、2倍必要となります。

(3)「新規録音」ボタンをクリックします。

❖録音が始まります。「新規録音」ボタンの下の「録音」ボタンが「ストップ」ボタンに変わります。

(図6)録音時の操作画面



録音レベルが表示されます。赤線が上限です。上限を越えると音が割れるのでマイクを離す等、調整して下さい。

録音の音量調節ができます。

(4)録音を終了又は一時停止するには「ストップ」ボタンをクリックします。

❖「ストップ」ボタンが「録音」ボタンに変わります。

(図7)録音終了又は一時停止の操作画面



録音時は録音のリズムをとってもらうため、鳥のクチバシがリズムよく開きます。

(5)「録音」ボタンをクリックします。

❖直前の音声に追加録音されます。

「新規録音」ボタンをクリックします。

❖新たな音声として録音されます。

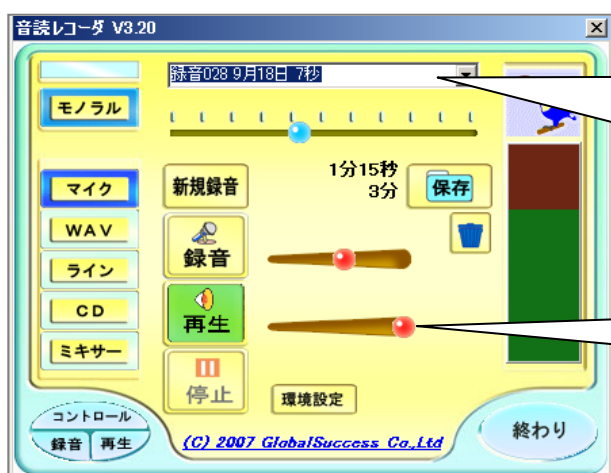
### 3.録音した音声を再生する方法

(1)録音した音声を再生するには、音声ファイルを選択して「再生」ボタンをクリックします。

❖再生が始まります。「再生」ボタンは「ストップ」ボタンに変わります。

一時再生を停止するには「ストップ」ボタンをクリック。再生を終了するには「停止」ボタンをクリックします。

(図8)音声再生時の操作画面



再生する音声ファイルを選択します。▼をクリックすると音声ファイルが表示されます。

再生の音量調節ができます。

(図9)



ボリュームコントロールを開きます。

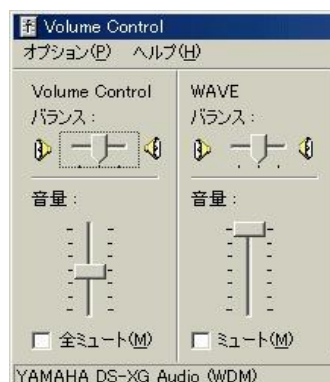
※音がでない場合には、コントロールボタンの下の再生ボタンをクリックして Volume Control を開きます。Volume Control 又は WAVE の欄がミュートになっていたらチェックを外して適切な音量に調整して下さい。

※録音ファイルの表示

録音○○○ ○○月○○日で表示されます。

録音 No・作成月日の順になっています。

(図10)「Volume Control」画面

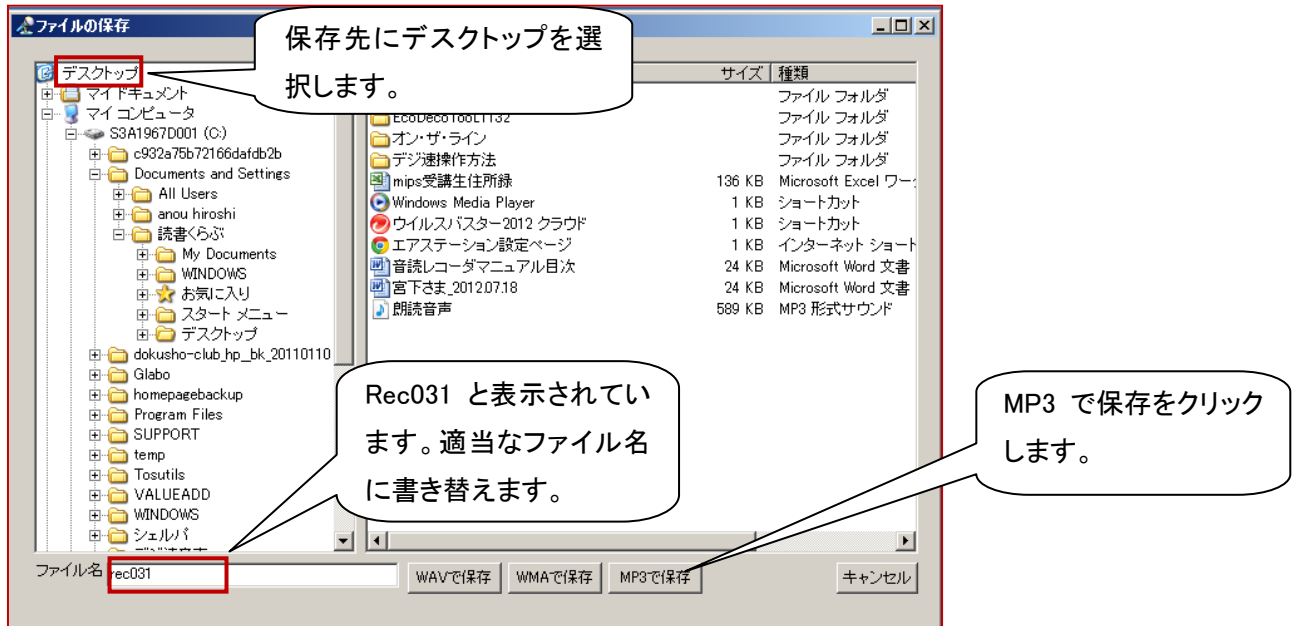


## 4. 録音した音声を保存する方法

(1) 録音が終了したら、保存したい音声ファイルを選択し、「保存」ボタンをクリックします。

❖ フォルダに保存する選択画面が表示されます。

(図11) ファイルの保存画面

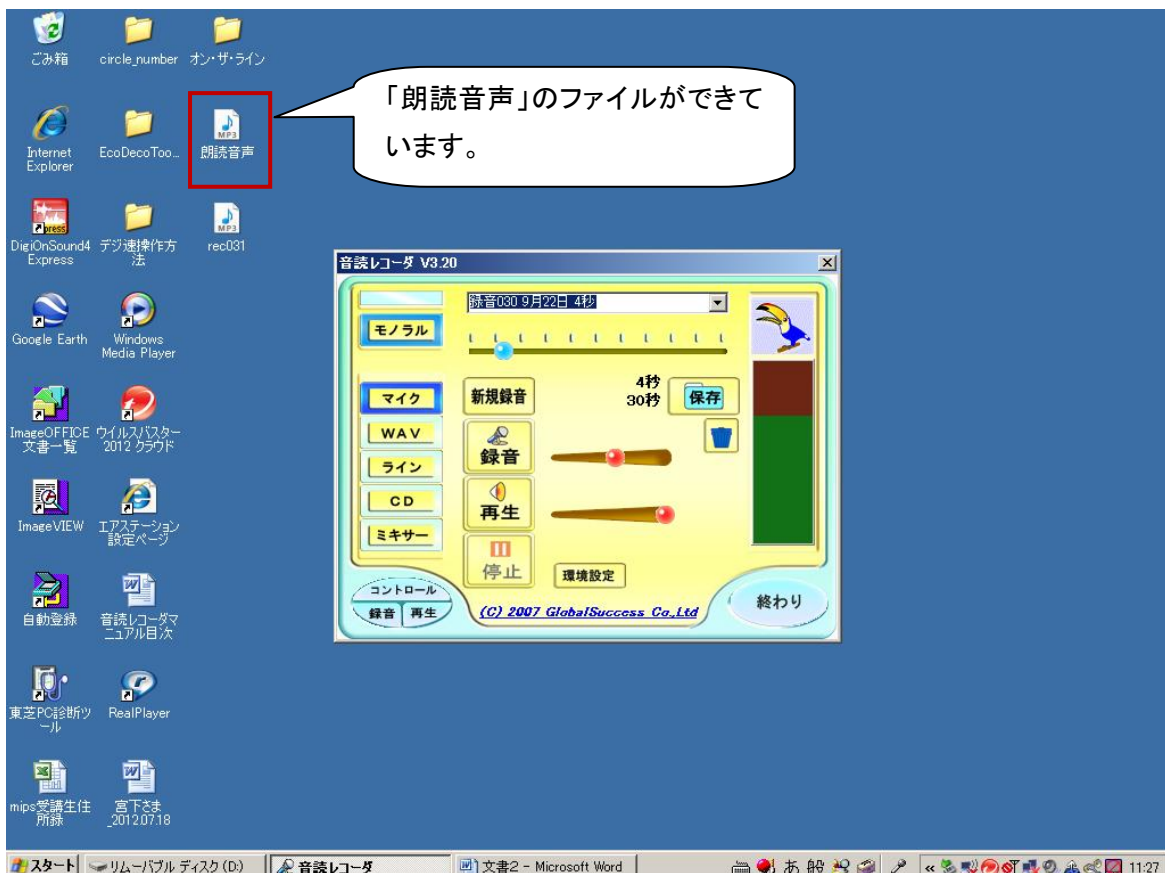


(2) 適当なファイル名を付けて、「MP3で保存」ボタンをクリックします。

❖ 操作画面にもどります。デスクトップに「朗読音声」のファイルができています。

※この例では「朗読音声」と名前をつけてデスクトップに保存しています。

(図12) ファイル保存後のデスクトップ



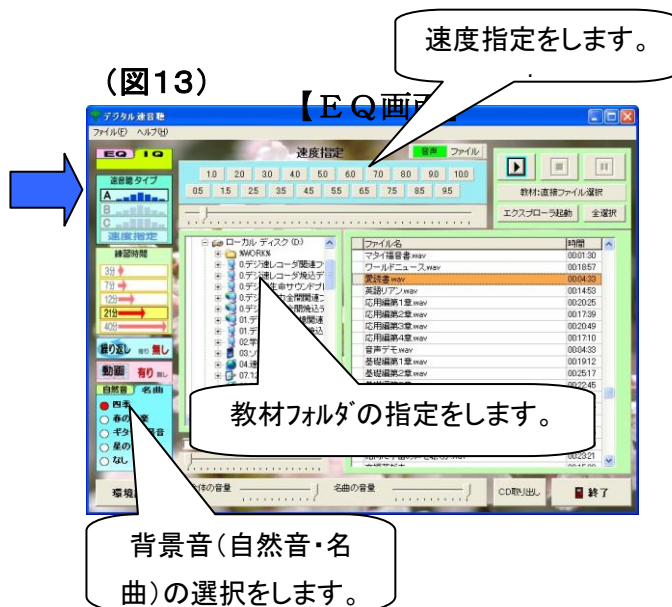


## 5.音声ファイル速音化の仕方

音声ファイル速音化の仕方はデジ速マニュアルに詳しく説明しています。ここでは簡潔に説明します。デジ速操作画面が表示されたところから説明します。

(1)IQ 画面の方を選択します。

❖EQ画面からIQ画面に変わります。



(2)教材フォルダの指定

例えば、理科、社会など科目ごと、あるいは、英検、看護婦試験等の資格試験ごとに教材フォルダを作成し、その中に音声コンテンツを分類して入れておきます。そうすると、IQ画面の「教材フォルダ指定」エリアで、その該当するフォルダを選択すると、右側の「ファイル名」表示エリアに音声コンテンツの一覧が表示されます。そこから必要なコンテンツを選択して、簡単に学習することが出来ます。

(3)IQ画面についての説明

IQ画面では、速音聴タイプは、自動的に「指定速度」となります。IQを伸ばすためには、「指定速度」での利用が多いことから自動的に選択されます。しかし、AタイプからCタイプの富士山型トレーニングモードも、利用することも出来ます。その場合の倍速変化は、EQ画面での設定内容と同じになります。

「速度指定」では、IQ画面では0.5倍速から、10.0倍速まで0.5倍速きざみで、EQ画面では、0.1倍速きざみで、倍速を変えることが可能です。

